写

苫小牧市公設地方卸売市場の施設整備についての意見書

令和６年１０月１７日

苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会

令和６年１０月１７日

苫小牧市長　岩　倉　博　文　　様

苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会
会　　長　　佐　藤　　郁　子

苫小牧市公設地方卸売市場の施設整備についての意見書

第２３期苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会における協議に基づき、別紙のとおり意見を述べます。

意　　見

苫小牧市公設地方卸売市場の施設整備について

苫小牧市公設地方卸売市場の長期的な展望を示した「経営展望」、「経営戦略」の改定について本審議会で協議してまいりました。特に市場に求められる施設整備を具現化することに重点を置いた協議でありました。また、本市場の現実的な課題等を解決するため、道内卸売市場の視察、道外先進都市市場の整備事例を確認し、他市場と比較することで、より一層求める市場像を描くことができました。

本市場は、昭和２８年に北海道初の公設卸売市場として浜町に開設され、その後、現在の水産棟が昭和４１年に汐見町の現在地に、青果棟が昭和４６年に港町の現在地に建設され、水産棟、青果棟とも築５０年以上経過し、老朽化が著しい状況です。また、国より発出された今後の卸売市場整備の方向性骨子において、本市場の課題である生鮮食料品の衛生管理の高度化、物流機能の強化などへの取組みが求められており、本市場に合わせた市場機能強化が必要な状況となっております。

本市場は、今後とも、東胆振の拠点として生鮮食料品の円滑な流通と取引の適正化を図り、供給圏域住民の食生活の安定に資するとともに、安全で安心な生鮮食料品の供給をさらに充実させるために必要な施設であります。

以上のことから、本審議会といたしましては、本市場が現代に合わせた機能強化を図るために、「建替えが望ましい」という総意に至りました。

今後、審議会の総意を実現するためには、現状課題の調査、補助対象事業の把握など、付随する課題を解決するため、各部門においても十分な協議を行う必要があると考えます。